

月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構
いわき病院

第178号

平成30年11月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します

来年2月の移転に向けて



季節外れの台風もありましたが、すっかりとした秋空が広がり紅葉燃える山々も徐々に冬支度を始めています。9月末の竣工引渡が終わり、10月はネットワークの配線工事関係を行って来ましたが、現在は建築工事真っ最中の頃の賑わいは無く人気の少ない病院は屋内も屋外もひっそりと静まりかえっています。しかしながら移転に向けての準備は現病院で着々と進んでおり、11月末にはよいよ3テスラのMRIの搬入作業が始まります。

職員も移転と同時に開始される電子カルテ操作の習得に余念がありません。

これから冬に向かって風邪やインフルエンザなどの流行が懸念される時期となりますが、移転に支障の出ないようにうがい手洗い等の感染防止に努め、気を引き締めて業務にあたる所存であります。 (文責：業務班長)



医療安全相互 チェックについて



10月4日(木)宮城病院による医療安全相互チェックが行われました。医療安全相互チェックは、各病院の医療安全対策の標準化を推進するとともに、医療安全の質の向上と均てん化を図ることを目的として行われております。オブザーバー病院は、福島病院に担当していただきました。宮城病院副院長久永医療安全室長の挨拶で始まり、Aチーム、Bチーム2班に分かれて、前半は、神経内科病棟、重症心身障害児(者)病棟のチェックを実施し、後半は薬剤科、栄養科などコメディカル部門のチェックを行い、最後に、意見交換、講評が行われました。講評では、医療安全評価カンファレンスや医療機器研修に対しては、お褒めの言葉をいただきました。今回の相互チェックにおいて気付くことの出来た、不足点や改善が必要な点を見直し、患者さんの医療安全を最優先に考えた、安心して入院生活を送って頂ける環境を整えていきたいと思っております。



医療安全管理係長：佐藤 秀美

院内感染対策研修会



日に日に寒さが感じられる季節となりました。10月19日インフルエンザの本格的流行を前に院内感染対策の強化と周知徹底を図るべく、いわき市保健所長の新家 利一先生をお招きし、院内感染対策研修会を開催いたしました。テーマは“インフルエンザ予防対策と集団発生時の対応について”です。

院内感染予防に際しては、“組織として取り組むこと”が特に重要な点であること。また既にインフルエンザの集団発生が近県で発生している等、いくつかの事例を挙げられ新人スタッフにも分かり易くお話を頂きました。

職員一人一人が周囲の僅かな変化にも注意を払い、互いに連絡協力し迅速に対応することが、インフルエンザの予防に関して何より重要であると改めて感じられた研修会でした。

今年もこれらのことを念頭に、職員一丸となってインフルエンザの予防と治療に当たって行きたいと考えております。

副院長：鈴木 栄

新任者自己紹介

外来師長 琴畑 利昌

岩手県の釜石病院から赴任して参りました外来・中材看護師長の琴畑です。外来は初めてですが、皆様が安心して受診が出来ますよう、頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。いわき病院に来て驚いたのは、海の近さです。以前の職場も比較的海は近い方でしたが、会議室からのオーシャンビューは他ではなかなかないのではないかと思います。来年2月には新病院へ移転するため、海が遠くなってしまおうのがとても残念です。

津波訓練



10月15日、防災訓練として津波訓練を行いました。福島県沖マグニチュード7.0、震度6弱の地震により大津波警報が発令された想定での訓練でした。まずは、各チームのリーダーやメンバーの役割を確認し、避難場所の再確認、患者さんの安否確認と搬送方法について、机上シミュレーションを行いました。

訓練では、実際に模擬患者さんを搬送しますが、状況をイメージしながら迅速な対応ができました。入院中の患者さんたちは、人工呼吸器を装着していたり、車椅子など介助を要する患者さんが殆どです。その患者さんたちを安全かつ安心できるような声かけ・対応をしながら、避難させていく事が大切であり、普段から緊急事態への対応を意識していきたいと思っています。 第1病棟 看護師長：佐藤 美恵子

虐待防止研修

平成24年10月から障害者虐待防止法が施行され、当院でも障害者虐待防止法の周知、職員研修等を実施しています。職員の意識向上と態度の変容させるためには継続的な教育が病院全体で必要であると考えロールプレイを用いた研修を行いました。

日常ケアの場面で無意識に発している言葉を疑似体験することで、自分の行動を客観的に捉えることができ、自分の日頃の言動の振り返りを行えた研修でした。

当院は言語的コミュニケーションが難しい患者さんが多いため、今後も虐待防止に努めていきたいと思っています。

はまなす病棟 看護師長：高橋 恵子



NHO PRESS ~国立病院機構通信~



いわき病院は、全国 141 病院からなる国立病院機構 (NHO: National Hospital Organization) のひとつです。

NHO では各病院の活動を紹介する『NHO PRESS』を発行しています。

外来待合室などに設置しています。ぜひご覧になってください。

国立病院機構ホームページでは最新号と過去の『NHO PRESS』を掲載しています。

NHO PRESS

検索



いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、神経内科、外科、脳神経外科、小児科 (小児神経疾患)、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30~11:30 (ただし、救急患者は随時受け付けております。)
- 診療時間 8:30~17:15 ※金曜日の内科は、鈴木または代診の医師が担当します。

外来担当医師診療日程表 【平成30年7月~】

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	内科 診察室① 鈴木 栄		診察室① 鈴木 診察室② 齋		診察室③ 高橋 ほか
	神経内科 診察室③ 尾田宣仁	診察室① 會田隆志	診察室③ 尾田宣仁	診察室① 関 / 會田 (交代制)	診察室① 関 晴朗
	外科			診察室② 田崎 博	
神経内科専門外来 (予約制)					
午後	神経難病 神経筋疾患 《診察室①》		(神経内科) 関 晴朗		
小児神経外来 (予約制)					
後	小児神経外来 《診察室①》 (小児科) 柳沢俊郎		(小児科) 柳沢俊郎		



お知らせ

◆患者相談窓口

患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲載しています。

◆当院受診について

他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院病診連携を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**
 National Hospital Organization Iwaki National Hospital
 責任者 院長 関 晴朗
 〒970-0224 福島県いわき市平豊間字兎渡路291番地
 TEL 0246-55-8261 FAX 0246-55-5052
 ホームページ <http://iwaki-hosp.jp/>